

政治は変えられる 新自由主義から脱却を 緑区で講演 井上議員

井上さとし参院議員は6日、名古屋市緑区の「平和と民主主義、暮らしを守る緑区懇談会」（緑平民懇）総会に参加し、「どうなる？コロナ問題と国民の暮らし」と題して講演しました。



井上氏はこの間、大学入試の民間試験、桜を見る会、検察庁法改定問題など、市民と野

党が協力して安倍政権を追い詰めた指摘。コロナ問題では1人10万円、政治を動かしていると語りました。さらに、コロナ後の社会について、野党の間で新自由主義からの脱却が共通の認識になっていると述べました。総会には立憲民主党の近藤昭一衆院議員が参加し連帯あいさつをしました。

人権侵害は国際問題 「国家安全法」で迫る 井上氏 香港 参院外交防衛委

井上さとし参院議員は2日、外交防衛委員会、中国の全国人民代表大会が香港への導入を決めた「国家安全法」について、政府に「人権侵害は国際問題」という立場での強い対応を求めました。

井上氏は「現代の国際社会では人権侵害は国内問題ではなく重大な国際問題だ」と強調。「(政府は)憂慮の表明にとどまっているが、よ

り明確な強い立場を明らかにすべきだ」と迫りました。茂木敏充外相は「香港情勢に深く憂慮する。状況を注視しつつ、関係国と連携して中国に働きかけるのが重要だ」と述べるにとどまりました。

井上氏は「人権侵害は国際問題だ」という立場で強い対応をとるよう今後も求めていく」と語りました。

安倍政権による改憲発議を許さない 本村議員



もとむら伸子衆院議員は4日、宗派を超えた宗教者「平和をつくり出す宗教者ネット」が開いた国会前の集会に参加し訴えました。

もとむら氏は、みなさんの活動に敬意を表明し、憲法審査会の委員として委員会を開かせないと決意を述べました。日本カトリック正義と

平和協議会専門委員の弘田しずえさんは「グローバルな連帯を実現していくために、憲法9条を守る決意を新たにしたい」、カトリック司祭の大倉一

美さんは「9条は命を守る最も重要な条文。死守したい」とのべました。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんも、ねばり強くたたかいかいを広げることと呼びかけました。

衆院憲法審査会は10日、与野党の合意もなく、会長職権で開会が強行されようとしたが、11日、立憲野党の強い抗議のなか、流会となりました。



街頭宣伝
17日(水)午後5時
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
もとむら伸子衆院議員(予定)
島津幸広前衆院議員
すやま初美愛知県副委員長

沖縄県議選 7人全員当選

6月7日投開票された沖縄県議選で日本共産党は前回より1人増の7議席を獲得しました。玉城知事を支える「オール沖縄」でも25議席を獲得し、県議会の過半数を占めました。東海4県からもオルグや電話での支持拡大などで支援しました。

6月15日(月)ブロックいっせい宣伝を成功させよう